

2 学年の生徒の皆さんへ

16 日から学校が再開できるのではないかと期待していましたが、状況は変わらず、県教育委員会も 25 日まで休校という苦渋の決断をせざるをえませんでした。当たり前前に思っていた学校生活が実際できなくなってみると、友達と普通に教室で授業を受けられることが、こんなに貴重なものだったのかと痛感させられたことでしょう。それは、私たち教員だって同じ思いです。しかし、この状況は全国の高校でも同じです。

4 年前の熊本地震で被災し、1 ヶ月以上にわたり熊本市内の高校は授業が実施できませんでした。その時、熊本高校の当時の生徒会長はホームページ上で「皆さんに伝えたいのは 2 つ。まず、何よりも自分の命を大切にしてほしい。生きている限り、僕らにできないことはありません。時間がたてば、今までのかけがえのない日常に戻れます。2 つ目は、この災害を自らの成長の糧にする勇気を持ってほしいということ。災害を生き延びた私たちの次なる責務は、新たな犠牲を生み出さないよう努力することです」というメッセージを伝え、生徒並びに被災者にも大きな勇気を与えたそうです。そして、その年は 1 ヶ月以上も授業が実施できなかったにもかかわらず、進路実績は前年度より上回っています。

今まさに鶴丸生の真価が問われています。きつい時だからこそ、「今自分に何が必要なのか」を問うて欲しい。使える時間はたっぷりあります。目標を持って過ごせば、これまでできなかったことも、先に教材を進めることだって可能です。3 年に進級し、また授業が再開できる日を余裕を持って迎えようではありませんか！各教科から 3 年に進級するまでに、これだけは取り組んでおいて欲しいと思われる事項を出してもらい、まとめました。参考にして下さい。

《 国 語 》

現代文

評論等の硬質な文章から疎遠にならないこと。教科書を活用し、読み慣れておく。三年生の範囲の教材を読んでおいてもよい。文系は「ちくま評論選」も活用すること。

古典

基礎力は、文法力（古典文法・漢文句法）と語彙力（古文単語等）と古典常識力の総合力です。古典常識力の醸成は「国語便覧等」を活用すること。基礎力がついてきていると実感がある生徒は、手持ちの古文・漢文の文章を片っ端から読み流してください。すらすら読めてきたら、基礎力の定着がより確実なものとなります。

◎春休みの課題は、年間計画に示してある通りです。計画的に学習を進めよう。

《 数 学 》

- ・苦手分野、入試でよく出題される分野を把握して集中して取り組み、克服しよう！
- ・「勉強は命がけでせよ！」～それが必ず自分と自分の周りの人たちを幸せにし、豊かにするから！
- ・「課題（与えられた分）だけでいいのですか？」

《 英 語 》

- ・「一日一長文」

これまで読んだ教材や課題の問題集を利用して、一日一つは長文を読もう。音読も忘れなく！

- ・「Scramble を利用して文法事項を確認する」～3 年に進級する前に文法事項はしっかり固めよう。
- ・「基礎英文精講を利用して構文を確認する」～3 年次「シニアテスト」でも出題する予定です。
- ・「鉄壁を利用して語彙を補強する」～英語の力は、最後は語彙力で決まります。

《 世界史 》

- ・この期間で 2 年生で学習した範囲をしっかりと復習し、もれがないようにしておこう！3 年生での結果が全然違ってきます。
- ・文理ともに教科書を通読し、「研究ノート」と「チェックリスト」を解き、それに加えて文系は「世界史総合テスト Plus α」（提出）をやっておきましょう。

《 日本史 》

- ・「(日本史) 要点ノート」, 「総合テスト」の既習範囲で取り組んでいないところがあれば、済ませておくこと。
- ・「(日本史) チェックリスト」の既習部分をどんどん進めておくこと。
- ・教科書の通読をしよう！

《 地 理 》

- ・教科書、資料等を熟読・参考にして、「要点ノート」の次のページを自力で取り組んでみよう！（解答は登校日に配付予定）
- ・文系（P.60～P.73）、理系（P.60～P.69）
- ・文系は登校日に配付予定の「春の特別論述問題」にも是非挑戦してみよう！

《 物 理 》

- ・新3年春期課題・日々題をしっかりと解き、基礎事項を徹底的に復習する。
- ・苦手分野を復習し、克服できるよう努力すること。
- ・基礎が理解できているものは、「名問の森」に取り組むこと。

《 化 学 》

- ・指示された範囲の問題が解けるように、WINSTEPで確実に復習しておいてください。
- ・3年になったら化学も予習が必要になります。教科書の指示された部分を最低3回読んでおいてください。

《 生 物 》

- ・2/28（金）に配付したB6用紙の通りです。

《 地学基礎 》

- ・2年生の学習内容をしっかりと身につけるために、まず「研究ノート」をマスターしよう。最初から1問ずつやり直すこと。
- ・「研究ノート」をマスターしたら、「復習プリント」（18日配付予定）で応用力を身につけよう。

※ その他の教科や、4月課題考査の課題範囲については、18日（水）に配付します。

《 保健室より 》

登校前に、必ず検温をしてください。37.5度以上の熱や、咳、倦怠感などの風邪症状がある場合は、登校を控えてください。

登校する生徒は、可能であればマスクを着用し、教室に入る前には、教室に設置してある消毒液で手指の消毒をすることと、教室の換気を必ず行ってください。